



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度

RI会長

シェカール・メータ

RIテーマ

SERVE TO CHANGE LIVES

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 成田 秀治 会長 ● 小澤 一雅 幹事 ● 横町 芳隆 SAA ● 神山 智子

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

https://www.8kitarc.com/

例会日：毎週火曜日 12:30 開会

11月 ロータリー財団月間

vol.13

第2459回例会 2021.11.2

司会：小野晶子副SAA

RIテーマ

点鐘

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング
- ・四つのテスト



(Zoom画面)

表彰



新米山功労者優秀ロータリアン
小金平育男会員

誕生日祝い



奥井 義則会員



千葉 清彦会員



類家 順会員

ご結婚祝い



佐々木悦郎会員



源新 育子会員



源新 和彦会員



佐々木則夫会員



小向 龍悦会員



大入 武志会員

会長要件

小澤一雅会長



最近、私にとって良いことがありました。私は保育園の園長をやっております17年になります。卒園した子供が社会に出て頑張っている話を聞いたり見たりするのがとても嬉しくて日々の糧になります。嬉しかったことは保育園の卒園児が4月から職員として入ることになって、これは初めてのことで嬉しくて皆さんにお話ししたくなりました。子供達が社会に出て一翼を担うようになる。園長先生の顔で会えばいいのか雇用主で会えばいいのか戸惑いそうです。

子供達が社会に出やすい環境、仕事を続けられる社会を皆さんと一緒に作って参りたいと思います。

幹事報告

横町芳隆幹事



◎11月のロータリーレート 1ドル=114円

◎八戸聖ウルスラ学院より北奥羽中学校英
語弁論大会後援のお礼状

◎櫛引八幡宮より正月の団体・企業昇殿祈禱のご案内
1団体最大5名、玉串 代表1名

◎地区ロータリー財団セミナー兼補助金管理セミナーのご案内

11月21日(日) ホテル青森

◎来週の例会

11月16日 青少年奉仕委員会

親睦委員会

佐々木則夫会員



八戸北RC

源新和彦会員：結婚記念日お祝いありがとうございます。

源新育子会員：結婚祝いありがとうございます。

大入武志会員：結婚祝いありがとうございます。

小向龍悦会員：結婚祝いありがとうございます。

佐々木則夫会員：結婚祝いありがとうございました。

佐々木悦郎会員：結婚お祝いありがとうございます。

奥井義則会員：誕生日祝いありがとう。

千葉清彦会員：誕生日のお祝、ありがとうございます。

類家 順会員：誕生日祝いありがとうございます。

米山記念奨学金

源新和彦会員：

大沼 衛会員：

平野 薫会員：

神山智子会員：

吉田悦子会員：

ポリオ・プラス

源新育子会員：

出席報告

本日の出席率 71.8%
前々回 (10 / 19) の修正出席率 75 %

卓話「私の仕事について」

吉田美登紀会員



e L・パワー株式会社は2013年に、八戸市における再生可能エネルギーの草分けである毛利邦彦氏と、養鶏を営む青森ポートリーの青野正宣が、東日本大震災の痛ましい災害からの再生可能エネルギーに対する盛り上がりを受け、太陽光発電事業並びに鶏糞による畜産バイオマス発電への研究の為に立ち上げた会社です。社名はEcology（エコロジー）とLife（生活）の結合と、それを力とするというPowerから付けられました。

2012年に固定価格買取制度（FIT）が開始されてから、青森ポートリーでの1.5MWhの2基の保守運用と、自社の1.5MWhの1基の併せて4.5MWh（メガワットアワー）の太陽光発電所を順次稼働させ、現在もその運用を行っております。

さて、太陽光発電所は御存知のとおり太陽光を受けて発電する太陽電池を集積したソーラーパネルを何枚も接続したものです。一般的な発電所のように発電機を回しての交流発電ではなく、パネルに生じた電位差による直流発電となります。太陽の光さえ当たればパネル自体が発電するため、災害や事故などでは通電部が露出した状態になり感電のおそれがあるので太陽光パネルや発電所には近づかないようにしてください。

太陽電池にはいくつか種類があります。それぞれ特徴があり高温になると抵抗成分が増えて発電ロスつまり発電効率が落ちるものもあります。当社では設置地域の天候から、晴天よりも曇天での発電能力を重視し太陽光の吸収効率が高く曇りなどに強い、高温環境でも出力が低下しづらいなどの利点をもつソーラーフロンティア製のパネルを全ての発電所で採用しております。

現在、運転開始から約8年が経過しましたが概ね想定より多い発電量を得ています。何とんでも想定の日射量を得られるかで左右されますがパネル自体の異常な劣化などは確認されておりません。今までに起きた保守上の問題は、主に落雷とカラスによる投石の被害があり、全て速やかに点検と交換、並びに係る保険対応を実施しました。また、都度発生する東北電力からの停止協力要請があります。これは送電網の工事のため太陽光発電をやる会社が増え続けているためです。これに対応し、発電機会を損なわないよう速やかな対応を行えるのが当社での

運用の強みと言えます。因みに1か所の発電所において、良好な発電環境では1日の売上が40万円程度にもなりますが、雨天や降雪積雪ともなれば全く売上が得られない日も多くあり年間では8千万円弱といったところでした。1.5MWhの太陽光発電所である当社の五戸SFでは2020年で1960MWhの発電を行いました。通年での設備稼働率（設備が発電している時間）としては15%であり一般的な太陽光発電所のレベルといえます。

固定価格買取制度、所謂FITですが、1kWh（キロワットアワー）あたり当社が契約した当時の40円から下がり続け、現在では10円ちょっとまで落ちています。また一定以上（250kW）の規模については入札による価格を決定することになっています。但し、設置費用（調達価格）についても同様に右肩下がり概ね売電価格と同程度の割合で下がっているとされており利率に変わりはないとされています。主にパネルの発電効率が向上したこと、製造コストが下がったことなどによりパネル単価が安くなったこと、基礎工事等において安価で安定した設置方法が確立された事が要因と思われます。但し、設備会社にとっては売上も同様に下がることから太陽光発電の設置を主な事業とした会社では経営難となる場所が続出しているといった実態があります。

先だって小泉進次郎前環境大臣が2030年におけるCO₂削減目標を2013年比で従来の26%から46%へと大幅に上げた事で話題となりました。2019年での削減実績は14%ですから5年ほどかけて目標の半分まで達成したところを、さらに倍以上を削減しようという内容です。これに伴い再生可能エネルギーの比率も2019年の18%から2030年には24%としていた目標も38%へと引き上げられました。現在の18%において電気料金に上乗せされている再エネ賦課金は年間2兆円程度と言われていています。これが倍以上となりますから現状の賦課金の割合のままであれば2030年には4兆円以上の再エネ賦課金を負担するという事になります。尚、46%のCO₂の削減目標を排出量で達成するのは困難であることから、回収して地中に埋めたり、水素などの代替燃料による新技術での産業構造の転換などで2050年には削減のためのコストが40兆円に達するとの試算もあります。ここで原子力利用を無いものとするればさらに30兆円上昇するそうです。我々がどのような社会生活を営むのか、正しい科学的知識と評価、透明性のある選択が出来ることが問われていると思います。

再生可能エネルギーの利用としてのエコロジーと社会生活としてのLifeをもって当社の社名に則り、これらの課題に向き合っていく会社として、何ができるかを考えていきたいと思っています。

ご興味のある方は発電施設をご案内いたしますのでお声がけください。

以上、ご清聴ありがとうございました。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)